

コロンビア政治情勢（2024年12月）

1 概要

【内政】

- （1）ボニージャ財務大臣の辞任とゲバラ新大臣の就任
- （2）国連、ボゴタ国際空港の格納庫に2万体の遺体が存在すると発表
- （3）コロンビア陸軍、クラン・デル・ゴルフオを爆撃
- （4）チョコ県の5つの違法武装組織が政府との一時停戦に合意
- （5）議会審議
- （6）与党連合「歴史同盟」、党としての統一化方針を表明
- （7）世論調査

【外交】

- （1）ムリジョ外務大臣、ガザ人道的対処向上のためのカイロ閣僚級会合に参加
- （2）ペトロ大統領、ウルグアイを訪問
- （3）ムリジョ外務大臣、セネガルを訪問
- （4）ムリジョ外務大臣、カタールを訪問
- （5）トランプ次期米国大統領、弁護士の新リーリン氏を次期駐コロンビア米国大使に指名
- （6）ムリジョ外務大臣、チリを訪問
- （7）ペトロ大統領、エクアドルのガラパゴス諸島を訪問
- （8）ペトロ大統領、メキシコを訪問
- （9）米州人権裁判所、ペトロ大統領の請求を不受理とする

2 本文

【内政】

- （1）ボニージャ財務大臣の辞任とゲバラ新大臣の就任

4日、ペトロ大統領は、国家防災庁（UNGRD）を巡る不正資金疑惑への関与が報じられたボニージャ財務大臣の辞任を要求し、同大臣が辞任した。これを受け、5日、ゲバラ財務副大臣が新財務大臣として任命された。

- （2）国連、ボゴタ国際空港の格納庫に2万体の遺体が存在すると発表

5日、コロンビアを訪問中のカルメン・ビラ国連強制失踪委員会委員は、ボゴタ国際空港の格納庫には国内紛争による失踪者の遺体が約2万体制と述べた。同日、検察庁関係者が空港に赴いて調査を行った上でこの疑惑を否定すると共に、コロンビア外務省は国連側の発言を遺憾とする声明を発した。

(3) コロンビア陸軍、克蘭・デル・ゴルフを爆撃

5日、コロンビアの諜報部門は、アンティオキア県カセレスの農村地帯にある克蘭・デル・ゴルフの主要な宿営地を発見した。これを受け、コロンビア陸軍は同宿営地への爆撃を行った。

(4) チョコ県の5つの違法武装組織が政府との一時停戦に合意

13日、政府は、チョコ県キブドで活動する5つの違法武装組織（ロコス・ヤム、RPS、ロス・メヒカノス、レボルシオン・カビ、ロスZ）との間で、2025年1月31日までの一時停戦に合意した。また、政府とこの5組織は、克蘭・デル・ゴルフに対しても政府と一時停戦を結ぶよう呼びかけた。

(5) 議会審議

19日に閉会した今期コロンビア議会では、地方財政移転改革法が成立し、中央政府から地方政府への財政移転が促進されることとなった。他方、農地裁判所権限法案、司法改革法案、国家健康保険改革法案、労働法案は継続審議となり、資金調達法案及び政治・選挙改革法案が否決される結果となった。

(6) 与党連合「歴史同盟」、党としての統一化方針を表明

17日、与党連合「歴史同盟」は、ペトロ大統領の要請に基づき、2026年大統領・議会選挙に向け左派単一政党を結成するとの方針を表明した。同連合は、ペトロ大統領に率えられる思いやりのあるコロンビア、PDA党、共産党等の左派系政党から形成されている。

(7) 世論調査

12月のインバメル社世論調査によると、ペトロ大統領の支持率は34%、不支持率は61%であり、前月から大きな変化はなかった。また、政府が推進する全面和平政策については、27%が支持、64%が不支持であった。

【外交】

(1) ムリジョ外務大臣、ガザ人道的対処向上のためのカイロ閣僚級会合に参加

2日、ムリジョ外務大臣は、カイロで開催されたガザ人道的対処向上のためのカイロ閣僚級会合に参加した。同大臣は演説の中で、パレスチナ住民の人権を擁護するための努力を倍加することの重要性を強調した。

(2) ペトロ大統領、ウルグアイを訪問

3日から5日、ペトロ大統領はウルグアイを公式訪問し、ラカジェ・ポウ大統領と首脳会談を行い、ラテンアメリカの統合やクリーンエネルギー開発等について協議を行った。また、

ペトロ大統領は、オルシ次期大統領及びムヒカ元大統領とも個別に会合を行った。

(3) ムリジョ外務大臣、セネガルを訪問

6日、ムリジョ外務大臣はセネガルを訪問し、ファル外務大臣と外相会談を行い、両国間の関係強化について意見交換を行った。また、ムリジョ大臣は、セネガルにコロンビア大使館を正式に開設し、同大使館が両国関係強化のための拠点になるとの期待を述べた。

(4) ムリジョ外務大臣、カタールを訪問

7日、ムリジョ外務大臣は、カタールを公式訪問し、ムハンマド外務大臣と外相会談を行った。同会談では、経済分野を中心とした両国間関係の促進について協議が行われた。また、同地で開催された第22回ドーハ・フォーラムにも出席した。

(5) トランプ次期米国大統領、弁護士の新ューリン氏を次期駐コロンビア米国大使に指名

12日、トランプ次期米国大統領は、次期駐コロンビア米国大使として弁護士のダニエル・ニューリン氏を指名すると発表した。フロリダ州出身のニューリン氏は、オーランドの保安官事務所で28年間捜査官を務めた後、交通事故を専門とする弁護士事務所を設立した。

(6) ムリジョ外務大臣、チリを訪問

10日から13日、ムリジョ外務大臣はチリを訪問し、太平洋同盟に関する閣僚会合及びビジネスサミットに参加した。同閣僚会合においては、環境、エネルギー移行、安全保障、移民、フェミニズム外交等幅広いテーマが扱われた。

(7) ペトロ大統領、エクアドルのガラパゴス諸島を訪問

14日、ペトロ大統領は、ノボア・エクアドル大統領の招待により、エクアドルのガラパゴス諸島を訪問した。また、同地において両大統領は首脳会談を行い、気候変動や環境問題に関する協力について協議を行った。

(8) ペトロ大統領、メキシコを訪問

15日から17日、ペトロ大統領はメキシコを訪問し、シェインバウム大統領と首脳会談を行った。同会談では、経済や移民等に関する二国間協力の強化について協議すると共に、1月10日に予定されるベネズエラ大統領就任式に関する両国の立場について話し合った。

(9) 米州人権裁判所、ペトロ大統領の請求を不受理とする

ペトロ大統領は、自身の大統領選挙キャンペーン資金疑惑に関連し、国家選挙審議会が同大統領を調査するとした決定を大統領特権侵害であるとして米州人権裁判所に同決定の撤

回を訴えていたが、19日、同裁判所は大統領特権が侵害されているとは認められないとしてこの訴えを不受理とした。

(了)